
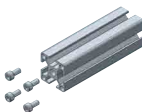
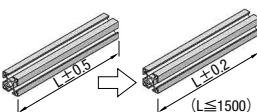
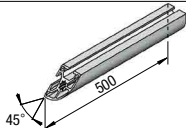

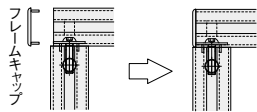
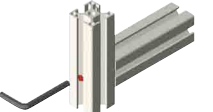
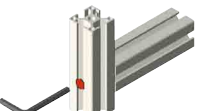
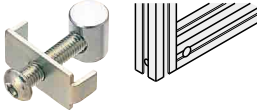

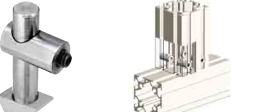

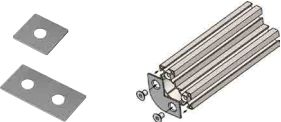
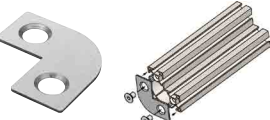
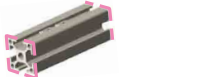



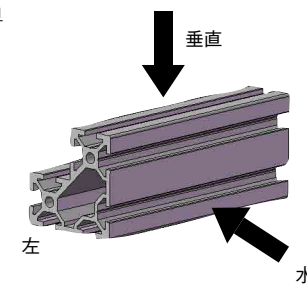
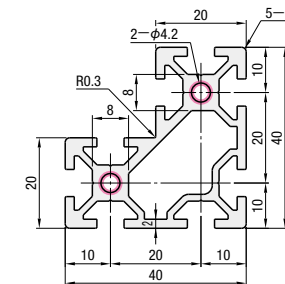
ミスマのアルミフレームは追加工をご利用頂く事で、より自由度の高い構造物の組立が可能となります。フレーム種別やサイズによって一部適用不可のものがございます。適用可否は各追加工ページ記載の価格表にてご確認ください。価格表内の記載「－(バー)」表記のものは適用不可となります。

分類	追加工名称	掲載ページ	追加工コード例	使用例	内容
端面タップ加工	端面タップ (センター穴)	P.783	LTP/RTP/TPW LHP/RHP/HPW		フレームにタップ加工を行いません。 この加工が必要なブラインドジョイント ●スクリュージョイント P.578・629・686・732 ●シンブルジョイント P.630
	端面タップ (四方穴)	P.794	LSP/RSP/SPW		フレーム端面・隅の穴にタップ加工を行いません。
カット方法変更	高精度カット	P.784	SC		全長L寸法をL±0.5→L±0.2に公差変更し、高精度にカットします。 ●L≤1500のみ適用可
	45度カット	P.784	L□T45/R□T45		45度の角度をつけてカットします。
レンチ穴あけ	固定位置レンチ穴	P.785	LWP/RWP		ブラインドジョイント締結の際に使用するレンチ穴をあけます。フレームをL字に組む際に、相手側となるフレームの端面タップの位置にあわせ穴加工されます。 この加工が必要なブラインドジョイント ●スクリュージョイント P.538・629・686・732 ●シンブルジョイント P.635・687・733 ●タッピングジョイント P.578・628・686
	フレームキャップ厚み分穴位置移動	P.786	FL/FR		固定位置のレンチ穴をフレームキャップの厚み分(3mm)移動させます。角に組んだ際にフレームキャップが出張らなくなります。
	指定位置レンチ穴	P.787	AH/BH/AV/BV		左端面から任意の位置にレンチ穴をあけます。梁部など、フレームの端部以外でのブラインドジョイント締結の際にご利用頂けます。
ザグリ穴あけ	指定位置ザグリ穴	P.789	Z6/XA100		左端面から任意の位置にザグリ穴をあけます。フレーム同士の締結やテーブルなどの取付にご利用頂けます。
ブラインドジョイント専用穴あけ	D穴	P.790	LDH/RDH		シングルジョイント締結時に必要な穴をあけます。 (シングルジョイントP.635・687・733)
	S穴	P.791	LSH		先入れダブルジョイント締結時に必要な穴をあけます。 (先入れダブルジョイントP.637・689・735)
	M穴	P.792	LMH		後入れダブルジョイント、センタージョイント締結時に必要な穴をあけます。 (後入れダブルジョイントP.580・633・689・735)
	L穴	P.793	JLP		パラレルジョイント締結時に必要な穴をあけます。 (パラレルジョイントP.580・639・689)

分類	追加加工名称	掲載ページ	追加加工コード例	使用例	内容
特殊フレーム 端面プレート 取付用加工	GNFSシリーズ GFSシリーズ 端面タップ	P794	LTS/RTS/TSW		フレームにタップ加工を行います。 この加工が必要なブラインドジョイント ●スクリュージョイント P538・629・686・732 ●シンプルジョイント P630
	HFSR端面タップ	P794	LTS/RTS/TSW		HFSRシリーズの端面保護プレート（P581・594・641・654）を使用する際に必要な加工です。
面取り	端面C面取り	下記参照	CW		フレーム端面の外周にC面取り加工を行います。
シール貼り付け	シール貼り付け	下記参照	ZZZ		アルミフレームのカタログ記号などを印刷したシールを貼付けます。文字数などの制限はありますが、お客様の通し番号・ユニット番号の印字も可能です。

■フレームの置き方の基準と指示方法について

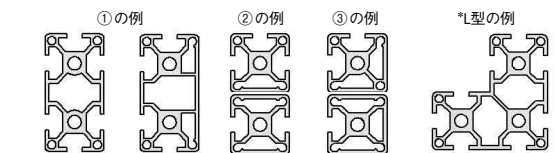
一部の穴加工をご指定頂く際には、『フレームの左右のどちら側に加工をするのか』、『水平・垂直いずれの向きで加工するのか』をご指定頂きます。ミスマのアルミフレームでは所定の置き方をして頂いた上で、下図の通り左右/水平・垂直を定めています。



■フレームの置き方の基準

フレームの左右を決める基準となるフレームの置き方は
下図の通りとなります。

- ①縦長に置きます
- ②フラットな面が下にきます
- ③フラットな面が下と右にきます



❗縦長でフラット面があるフレームの場合、①が優先されます。

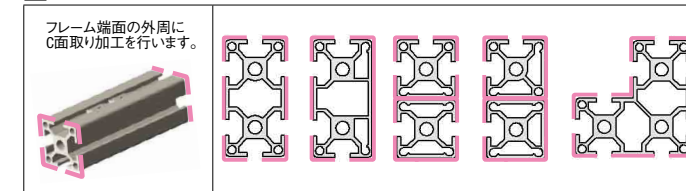
LR(フレームの左右):

フレームを所定の置き方をした上で、左/右を判断ください。
ほとんどのフレームの断面形状は上下左右対称の為、ひっくり返す事で左右どちらでもご利用頂けます。型式の便宜上、左右をご指定ください。
ただし、①左端/右端で加工が異なる場合 ②断面形状が上下左右非対称の場合は、ひっくり返すと形状が異なりますので、左右のご指定には注意が必要です。

HVP(水平/垂直/十字):

フレームを所定の置き方をした上で、穴あけの向きをご指定ください。
相手側となるフレームの締結方向に合わせてご指定頂きます。

■端面C面取り



⊗平行面取アルミフレーム、15角アルミフレームには適用不可

■アルミフレームへのシール貼付

アルミフレームにカタログ記号等を印刷したシールを貼付します。(無料)

通常の型式の末尾に、

- (1) -ZZZではじまる4桁以内の通し番号
- (2) -Uではじまる3桁以内のユニット番号

を続けて指定し、ご注文ください。

(例) HFS6-3030-1250-LTP-RTP-ZZZ1234-U102

①型式 ②通し番号 ③ユニット番号



Alteration	Code	Spec.	¥/1 Code
端面C面 取り	CW	フレーム両端面にC面取り 加工を行います。 (糸面取りC0.2~0.3)	160

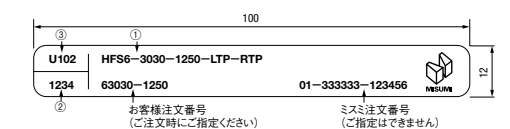


型式
HFS6

HFS6 - 3030 - 500 - CW



2 日目出荷



詳細仕様

通し番号は1桁以上で必ずご指定ください。
 ユニット番号のご指定が無い場合は、③の所は空白になります。
 型式が41文字をこえた場合、42文字目以降に“。。。"が付きます。
 お客様注文番号が21文字をこえた場合、22文字目以降に“。。。"が付きます。